

釜ヶ崎講座 ニュース	No. 7 2 号
	発行日 2025/7/27
	〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 2-9-12-202 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-9-7 釜ヶ崎日雇労働組合気付 事務局電話 090-3823-9794 郵便振替 00940-1-132778 メール kamakouza@cwo2.bai.ne.jp
ホームページ http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza	

☆第54回釜ヶ崎夏祭りがはじまります！

釜ヶ崎講座は8月15日、今年は午前中開催で

「夏の釜ヶ崎歩きツアー」をおこないます！☆

釜ヶ崎講座会員・読者のみなさん、ご無沙汰しております。釜ヶ崎講座に常日頃からご支援・ご協力をたまわり、また今年もカンパを送っていただき、厚く御礼申し上げます。有難うございます。

全世界的気候変動のさなか、今年は、梅雨が早々に終わり、7月当初よりの連日の猛暑が続いています。みなさん、ことのほか健康にご留意ください。

さて大阪万博開催の中、インバウンド景気はどこ吹く風、庶民の生活環境低下へのひっ迫感が増し、お米を筆頭とする物価高に直撃されながら、明日の食への危惧と生活不安が私たちに襲っています。そして国民全体がこれから今までどおりの生活が維持できていけるのか、漠とした不安の中での暮らしを余儀なくされています。

しかし黙することなく声を上げながら、私たちが安心して住み暮らせる社会的仕組みを作っていかなければなりません。

ネガティブな情報の拡散に惑わされることなく、ここ釜ヶ崎では戦争や原発で大もうけするこの国の政治に異議あり！として、釜ヶ崎労働者・住民への新たな社会的仕組みづくりー 当面、新センター機能の充実を中心とした「安心して暮らし、生活できる街・釜ヶ崎」の確立のための、取り組みが継続されています。

こんな中、今年も「第54回釜ヶ崎夏祭り」の期間がやってきました。8月12日、18時開催の「夏祭り前夜祭集会」、その前段の13時50分からの「三角公園ステージライブ」の開催を合図に、15日夜の慰霊祭～盆踊りまで、多彩な企画が予定されてます。皆さん！ご参加を！

釜ヶ崎講座はこの第54回夏祭り期間中の釜歩きツアー、猛暑を考慮して、8月15日(金)午前10時開催・スタートとさせていただきます。

釜ヶ崎歩きツアーの案内

- **開催日時** 2025年8月15日(金) 午前9時半受付、
午前10時に出発
- **受付・集合場所** 釜ヶ崎日雇労働組合事務所
大阪市西成区萩之茶屋1-9-7
- **案内人** 水野阿修羅さん
- **参加費** 500円(資料代含む、事前予約不要)
- **主催** 釜ヶ崎講座 (090-3823-9794)



Google maps

今回は昨年の猛暑、また予期せぬ夕立の中でのツアーは大変という参加者の声を受け取り、また今回、水野さんからの要望もあり、午前10時スタート、午後12時30分ごろには、すべてを終了していく計画で進めさせていただきます。今後の運営は引き続き皆様のご意見等、熟慮しながら気候温暖化の下での活動を模索していきたい考えです。

どうか宜しくお願いいたします。 (釜ヶ崎講座事務局)

～ここからは、これまでの釜ヶ崎を中心とした取り組みの簡潔な報告の掲載として続きます。～

① 「第55回釜ヶ崎越冬闘争」が、闘い抜かれる！

釜ヶ崎講座は新年1月3日に「釜ヶ崎歩きツアー」を開催

2024年12月28日、三角公園における「越冬突入集会」から、本年1月6日早朝の「夜間闘争本部・集団野営」の撤収まで、「第55回釜ヶ崎越冬闘争」が闘われ、勝利のうちに終了しました。

1970年に開始された越冬闘争は、同年設立された労働センターにより、「これで寄せ場の暴力支配が終わり、行政による施策が前進する」と思われましたが、相変わらず暴力手配師が横行し、賃金不払い、労災もみ消し、暴力事件が後をたちませんでした。こうした中で72年の「釜共闘」の結成が、これら不正に反撃していく動きを作り出していくことにつながりました。

昔より年末年始はセンターのシャッターがしまり、行政窓口は閉鎖、手元のお金がなくなる労働者であられ、当時の夜回りや炊き出しをする有志らによって、行き場のない状況を打破していく闘いが原点となり、越冬闘争が毎年形づくられるようになったのです。

そして越冬の闘いのもう1つの重要な目的が、厳寒期の仲間の命を守るという任務です。今回も12月28日から開始された(1月5日まで)「医療パトロール」はその重要な役割を担っています。ちなみに年末年始以降も各団体は釜地域内外のこうした「夜回り」行動を通年とおして担っています。

人民パトロールも今回も12月30日の「地域内情宣」を皮切りに、31日ナンバから、1月3日の日本橋まで果敢に「釜ヶ崎越冬のたたかい」の意義を訴え、仲間の安否を確認して回りました。

メイン会場の三角公園には戦争と差別排外主義、基地、原発の諸課題を闘う仲間が今冬も駆けつけ、釜ヶ崎との連帯を確認することができました。

そしてライブあり、餅つきやソフト、写真館や各展示など仲間の創意と団結で次への取り組みへの力に変えていく姿が今越冬でも見て取ることができました。

釜ヶ崎講座は新年2025年1月3日、この日以来もらった25名の方と共に「新春釜ヶ崎歩きツアー」を開催しました。

この「釜ヶ崎歩きツアー」の案内人を20年近く快く引き受けてくださっている水野阿修羅さんは、今回、順路にバリエーションを加味して国道43号を西へ

むけたコースをとり、進みました。当日がたまたま金曜日と重なることで、道路北側に3年前できた「イスラム・モスク」に礼拝に来た在留外国人の長蛇の列に出くわすことになりました。

近年、西成や浪速を中心とする在留外国人の生活拠点が急速に拡大する中、こうした文化や生活に関連した施設が見られるようになったものです。水野さんの説明では、外国人の近隣自治へのつながりは、総じて協力的であるとのことで、日本人自身がコミュニティーのアプローチを絶えず確立していくことが、「違い」の理解と共生観を生み出していくにつながると思います。

2024年4月に釜ヶ崎講座が開催した「外国人問題学習会」では、講師のベトナム人医師、ファム・グエン・クイー先生が「言語の壁を取り払う努力が緊急に必要なだ」と強調されていたのを思い出します。

この日、ツアーは長町地域から商店街を東へ進み、釜ヶ崎中心部をめざしました。水野さんの説明ではこの商店街の通りは、高度成長期の労働者が利用した通勤路で、現在はベトナム人の食料品店が増加しており、それを左右に確認しながら、歩を進めました。

かつての「阿倍野開発」の例をだして、水野さんが言う事例ですが、大規模開発の名による排除では不信と対立、そして孤立を住民間に植え付けて終わるだけだ。昔からの店と人を大事にし、新たな人も受け入れて暮らすことが、寂（さび）れない街を存続できる、釜もそうした方向を模索するかぎり、街として生きることが出来る、とこの日も水野さんは述べました。

今回ツアーでも釜の歴史と変遷、労働者、住民の意識などへの参加者からの質問・意見が多く出ました。

今後も釜ヶ崎講座ではこうしたご意見をもとに、ツアーの内容の全般をもっと掘り下げて考えながら、より良いものにしていく決意です。

20数年前のツアーは、当時の反失連が展開した就労と「自立支援法」を求めた府・市庁前の「野営闘争訪問」からはじまりました。創造と前進という言葉であらためて想起しながら、皆さんと共にツアーを作っていく所存です。参加者のみなさん、ご苦労様でした。水野阿修羅さん、今回もありがとうございました。

② 「第56回釜ヶ崎メーデー」が釜ヶ崎「萩小の森」で開催！

安心して働き、生活できる釜ヶ崎の諸要求かけ

「第56回釜ヶ崎メーデー」が開催されました。この日、大阪では「連合」や「全労協」、「全労連」のメーデー集会が開催される中、「萩小の森」で早朝からの準備の人も含め、100人以上の総力で、「釜ヶ崎メーデー」がもたれました。釜ヶ崎講座も参加、連帯行動を貫徹しました。

戦争といえば、ウクライナにおけるロシア侵攻の泥沼化、そしてパレスチナ・ガザでの暴力と虐殺が後を絶ちませんが、とりわけアメリカの支援を受けてのイスラエルによる先住民パレスチナ人へのジェノサイドは、かつて自分たちが体験させられたナチスと同じ行為を、狡猾に遂行するという、確信犯的戦争行為と言わねばなりません。集会は日本も兵器・装備品生産に手を染める形で参戦している現実と米・欧、そしてロシアやイスラエルの侵略行為を糾弾しながら、平和を希求し立ち上がるパレスチナをはじめ全世界の被抑圧民族、民衆と団結して、釜ヶ崎での諸要求の前進に向け、力に変えていく方向が確認されました。

集会後、釜地域内へ向け、約80名の隊列でデモが展開され、はらごしらえを済ますと、「バス勝利号」にて府・市庁へ向けての要望書を携えての行動をすぐさま展開しました。釜ヶ崎で済み暮らす、労働者や若年層、病気や障がいを持った人々の就労と暮らしに向けた当局の考えやセンター機能の充実に関わる施策の進め方等、どれも釜ヶ崎にとって重要な要望をともなった当日の行動でした。

すべての行動が終わり、最後は大阪城公園でカンパイがおこなわれ、今「第56回釜ヶ崎メーデー」の成功の充実感を全体で味わいました。（この項おわり）

～編集後記～

今年も「住まいとくらし SOS おおさか実行委員会」主催による、「食料配布＆相談会」および「ポンポコカフェ」がほぼ交互・継続的に開催され（当ニュースでも既報）、若者や女性、多様な人々の困窮に対応しています。生活や医療等、個別に相談につながっても、途中で姿を消すことや、うまくつながらないことも多々ある中、より良い方法、そしてより良い関係が、釜ヶ崎の内外で形づくられることを願いながら推進されています。

次回の「第6回ポンポコカフェ」は9/13日（土）、「第15回食料配布＆相談会」は11/23日（日）に開催予定。釜ヶ崎講座会員、読者の方で関心ある方は、会場に一度来てみていただければと思います。ご連絡ください。（講座事務局 090-3823-9794）

◆釜ヶ崎講座よりお願い

釜ヶ崎講座へのご支援・ご協力いつもありがとうございます。釜ヶ崎講座はみなさんのカンパで運営されております。今回も振替用紙を同封させてもらっておりますので、よろしくお願いいたします。

釜ヶ崎講座